



▲「これまでの自分を見つめ直し、目標に向けて頑張ることを宣言します」。新成人の代表5人が、力強く宣言。

### 夢に向かい 決意新たに

「花巻市新成人の集い」は1月7日、文化会館で開催され、花巻地域の941人が、誕生したばかりの新市で20歳の門出を祝いました。

式の企画・運営には、新成人の代表21人が参加。主役自らが率先して式を盛り上げました。劇団 ZENTYOYOCLUBの皆さんが贈る、未来を切り開くのは、あなたたち自身。どんな過去も無駄ではない。がんばれ!との力強いエールに真剣な眼差しで応える皆さん。大人の仲間入りをした責任と実感を仲間とともにかみしめ、それぞれの未来に向けて、一歩を踏み出しました。

### 地域経済さらなる発展に期待

合成樹脂の成型加工販売事業などを展開する東北資材工業と本市(旧石鳥谷町)の企業立地協定書調印式は12月14日、道の駅石鳥谷合りんどう亭で行われました。

同社は盛岡市に本社を構え、生鮮食品容器など発泡スチロール成型品の製造販売を主体に事業を展開しています。今回、石鳥谷町好地に建設される工場の操業は、平成19年度内を予定。将来的には、同社のメイン工場として計画されていることから、今後、地域経済の発展につながることを期待されます。



▲調印式で握手を交わす(右から)高橋旧石鳥谷町長、藤原社長、村井花巻地方振興局長

### 祝福と笑顔に囲まれて

杉村ハツノさんの満100歳の誕生日を祝う会が12月15日、入所先の特別養護老人ホーム大谷荘(花巻地域)で開かれました。家族や入所者、施設職員など、大勢の方が見守る中、祝福のくす玉が割られ、ハツノさんもお祝いに駆けつけ、記念品をハツノさんに贈りました。

また、12月22日には、2月に満100歳を迎える東和地域の小原芳郎さんへ、小田島旧東和町長が記念品を贈呈。家族と一緒に芳郎さんの長寿を祝いました。

たくさんの祝福に笑顔で応えるお2人。これからもずっとお元気でいてください。



▶ハツノさんの長寿を祝ってくす玉が割られました



▲小田島旧東和町長から、祝福の花束を受け取る芳郎さん



▶夜空に咲いた大輪の花。新市の将来を明るく照らしているようですね

### 市民からの誕生日プレゼント

新しい年を迎え、除夜の鐘が鳴り響く中、新花巻市に誕生を祝う市民有志による手づくりイベントが花巻地域と大迫地域で開催されました。

このうち花巻地域では、打ち上げ花火を合図に、樽神輿が鳥谷崎神社からまちなかビクターセンター前までを威勢良くパレード。同センター前ではお神酒や豚汁などが振る舞われ、新年の到来と新市誕生をともに祝おうと、多くの方がにぎわいました。

新市が生まれた記念の夜。皆さんの熱気と華麗な花火に彩られ、新しいまちがスタートしました。



▲大迫地域でも、年明けとともに神輿が神社を練り歩きました

▲多くの市民が見守る中、よさこいソーランを熱演(花巻地域)

### 勇壮な裸参りで一年を祈願

新年1月1日の午前0時、東和町北成島の三熊野神社では、恒例の裸参りが行われました。

元朝参りに訪れた大勢の参拝人が見守る中、猿ヶ石川の冷たい清水でみそぎをした身にサラシふんどし、しめ縄を巻いた若衆8人が参道を登り、一年の無病息災や五穀豊穡、商売繁盛などを祈願しました。

厳寒の中、雪を踏みしめ、力強く歩く若衆の姿に、参拝者も身を引き締めながら手を合わせ、今年一年が実り多い年であるようにと祈願していました。



新年、そして新市誕生を迎えた午前0時に、参道を登り始めた若衆。「この一年が、すばらしい年でありますように!」

### 銀板で初滑りを楽しむ

石鳥谷アイスアリーナは、12月1日に今シーズンの営業を開始しました。入場料が無料の3日には、初滑りをしようという友達同士や親子連れなど、多くの方が来場。恐る恐る前に踏み出すと、する人もあれば、滑るうちにスケイティングの感覚を取り戻し、軽快に銀板を滑走する人も見られました。

アイスアリーナは、冬期間の運動不足の解消や、体力の維持増進、コミュニケーションの場として利用されています。今シーズンの営業は2月末まで。皆さんも思い思いにスケートを楽しみましょう。



アイスアリーナは、各種大会やスケート教室などにも利用されています